

表彰式

2017年10月28日、立命館大学歴史都市防災研究所カンファレンスホールにて表彰式を開催しました。入賞者には、表彰状ならびに各協賛・後援企業、団体から副賞（最優秀賞：防災グッズ・防水機能付デジタルカメラ、入選：地球儀・防災リュックサック、佳作：地図帳・防災ポーチなど）および参加賞（文具セットや飲料水など）が贈呈されました。また、表彰式では、作品紹介と審査委員による講評も行いました。今年から作品毎に講評を実施し、細やかな評価やアドバイスはご出席いただいたご家族、協賛・後援企業様にも高評で、和やかな雰囲気の中で終えることができました。



表彰式 最優秀賞授与



入賞者による作品紹介



テープカット

応募者の声

危険や安全な場所の再確認、家庭や地域での情報共有、子供たち自身が主体的に行動するためのきっかけとして役立ったなどの意見をいただきました。

- 親子で一緒に作成することにより、地域で気をつけなければならないポイントを改めて認識することが出来た。
- 作成したマップを家族や友達に見てもらい防災について気持ちを改めてもらう事が出来た。
- 子供自身が地域の安全安心を考えマップを作成する事で、もしもの時に自分がどういう行動をすればいいのかをよく考える事が出来ました。
- 子供は賞品に目を輝かせてのスタートでしたが最後は仕上げる事にとてもがんばり、いい機会をいただきました。
- 普段から言いかせている注意も地図に書きこむことでより危険が身近にあることが感じられる。

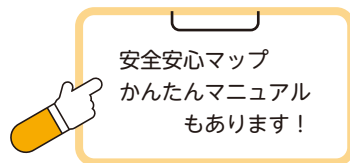
出張授業

「どうやって安全安心マップを作成したらいいの？」という声に答え、歴史都市防災研究所の教員や研究員が中心となって、小学校等に出向き、マップづくりに関する出張授業を実施しています。今年は、広島県東広島市立高美が丘小学校から依頼を受け、11月13日（月）に当研究所の研究員（崔研究員、谷端研究員、大学院生1名）が出張授業を行いました。当日は、約30分の講義でマップの作成方法やどのような箇所をチェックしたらよいかを学んでもらった後、交通事故、防犯、防災の班に分かれ、約1時間小学校周辺の危険箇所・安全箇所をチェックするフィールドワークを実施しました。説明したチェックポイントをフィールドワークで実際に確認できたことから、子どもたちの理解も良好で、担当教諭からも大変満足していただきました。



授業の様子

お気軽にご相談・お問い合わせください。



立命館大学 歴史都市防災研究所 事務局
〒603-8341 京都市北区小松原北町58番地
TEL：075-467-8801 / FAX：075-467-8825
E-mailアドレス：rekibou@st.ritsumei.ac.jp
コンテスト特集ページ：<http://www.r-dmuch.jp/jp/project/mapcontest/index.html>
開館日／月～金 9時30分～17時00分〔土・日・祝および休館日除く〕

2017年

第11回 みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト 事業報告



立命館大学歴史都市防災研究所では、小学生を対象として地域の安全安心への関心を深めてもらうことを目的に、2007年から「地域の安全安心マップコンテスト」を毎年開催しております。この事業は、小学生、保護者、ご家族、地域住民、教員など子供と大人が一緒になって地域を調べ、マップを作成しながら皆さんで地域の安全安心を考えてもらえるよう、大学の社会貢献活動の一環として取り組んでおります。今年も多くの方に支えられ、第11回を迎えることができました。この場を借りて心より御礼申し上げます。なお、本紙において第11回の事業内容をご報告させていただきます。皆様の日頃のご活動や今後のマップ作りの一助となれば幸いです。

第11回「みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」概要

2017年8月21日から9月29日までの募集期間に、全国から45点（個人42点、グループ3点）の応募があり、総勢52名の小学生に参加いただきました。応募地域は、京都府のみならず、東京都、埼玉県、愛知県、富山県、大阪府そして広島県と全国各地に及びました。今回は多彩な作品が並んだため、審査委員会では長時間に及び白熱した議論が行われました。その結果、今回はマップコンテスト開催以来初となる最優秀賞2点と、入選3点、佳作5点の入賞作品10点を選出いたしました。また今年も、入賞作品のうち7作品を国土交通省国土地理院主催の「全国児童生徒地図優秀作品展」へ推薦いたしました。その結果、本コンテストで最優秀賞に輝いた「私の住む町南福西町『助け合い』安心安全MAP」が、とくに優秀と認められたものに贈られる「国土交通大臣賞」を受賞しました。

主 催：立命館大学歴史都市防災研究所
協 賛：株式会社パスコ、日本ミクニヤ株式会社、Fレンタリース株式会社、株式会社帝国書院、第一通商株式会社、株式会社ネスト・ジャパン、NPO法人災害ボランティアステーション日本、マツモト産業株式会社、株式会社宝水、セコム株式会社（順不同）
後 援：国土地理院、コクヨマーケティング株式会社、京都新聞、KBS京都、京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、一般社団法人人文地理学会、立命館地理学会、京都府警察（順不同）

最優秀賞

2年生

私の住む町南福西町『助け合い』安心安全MAP



応募者のコメント

私の住む町は町ができて40年が経ち、空き屋やお年寄りが増えました。そこで、町内の人々が安心して暮らせるように、住人の状況に注目して作成しました。MAPは基本地図と、3枚の透明シート①防災シート②住人状況シート③交通安全シートで構成しました。各シートは左右上にめくれ、知りたい情報だけを見ることができます。特に工夫をしたのは、住人についての独自調査です。表札の調査だけでなく、各家の洗濯物、庭、車や自転車について、何度も調査を行い、住人（独居、老人等）を推測しました。MAP作成で得た情報を元に、安全で住みやすい町づくりに協力したいと思います。

講評

自身の住む地域の世帯構成などが綿密に調査され、「真に地域に寄り添った」マップとして高く評価した。また透明なシートを重ね合わせ、膨大な情報を巧みにまとめ上げており、完成度も高い。



国土交通省国土地理院主催「第21回全国児童生徒地図優秀作品展」にて国土交通大臣賞を受賞しました。

最優秀賞

3年生

南海トラフ地しんのひなん路



応募者のコメント

南海トラフ地震がもうすぐおきるかもしれないと教わったので、親がいない時に地震がおきても困らないように地図を作った。まず、周辺を何回も行ってみて、どのように逃げたら、安全に安心して逃げられるか調べた。その中で、疑問に思ったことができて、聞き取り調査をした。次に、地図を作る時、安心して避難できるルートや危険な所がよく分かるように色分けをした。最後に、がんばってこの地図を作ったので、色々な人に使って欲しい。

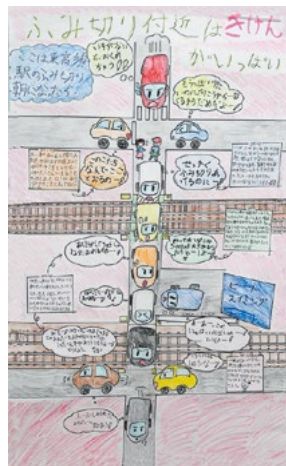
講評

南海トラフ地震に伴う津波からの避難ルートに加え、聞き取りした内容に基づいてどのように改善すべきかという要望が盛り込まれている点が良い。また整理も巧みで様々な情報にメリハリをつけ一つの地図として見やすくまとめている。

入選

4年生

ふみ切り付近はきけんがいっぱい



応募者のコメント

今回、この作品を応募したきっかけは、わたしの家の付近で一番きけんな所である高須のふみ切りを近所の人たちにより知ってもらおうと思ったからです。絵をつかったりふきだしをつかったりして、いろいろな人たちにみてもらうために目をひきつけるような作品になるように工夫しました。今回のマップはふみ切りだけのマップだったけども次応募するならば、西区全体のマップを作り、より多くの人にみてもらえる作品にしたいと思います。

講評

車を運転する側の気持ちを書き込まれ内容が面白い。また、ポスターの表現とマップとを融合させて見やすくまとめている。

佳作

5年生

ぼくの町 自転車ヒヤリハットMAP



応募者のコメント

僕は自転車に乗って走っている時、ヒヤリとしたり、ハットしたりする経験があります。最近では、自転車側が加害者になる事故も増えていて、京都では平成30年4月から自転車保険の加入が義務づけられています。僕は、僕の町でどのような場所が危険で、どのようなことに注意すれば安全なのかを調べ、地図にまとめました。このマップを見た人が、より安全に意識をし、優しい運転を心がける参考になればいいと思います。

講評

地図と説明のバランスが良い。タイトルやマップ作りの過程、気づきも書かれていたが、オリジナリティを強める表現の工夫が欲しい。

佳作

5年生

見守りマップ



応募者のコメント

3年生の時に防犯カメラについて調べたことがきっかけで、街の安全を意識するようになりました。下校の時に「おかえり」と声をかけてくれる見守りの人がいたりお隣の家に「子供110番」の家があったり、防犯カメラの数もどんどん増えて、オッタと言う防犯タグも配られるようになりました。

た。箕面市は安全な街づくりに力を入れています。そして、安全安心な街はたくさんの人によってつくられているなあと思います。

講評

全体的なレイアウトやデザインも良く、地図としての完成度が高い。地図化することで気づいたことが書いてあるとなお良い。

佳作

1年生

大野木小学校こうつうあんぜんちず



応募者のコメント

この研究は、子どもの交通事故を減らす事を、仕組みと現状、対策の点に分けて考えました。調査の中で、素晴らしい交通ルールが、子供達に理解しにくい事に気が付きました。そこで「学校みんながわかるマップ」を作ろうと思いました。マップは、学校周辺の危険な状況を警察の方と話し合って厳選し、「どう危ないか」「どうすればよいか」を、標識を解釈して表現しました。調査とロードワーク、議論は精一杯時間をかけましたが、マップは、小学生みんなが分かるように、可能な限り「簡単に」する努力をしました。

講評

簡素なマップだが、添付された資料からは詳細な調査を実施したことが読み取れる。これらの情報を1枚の地図に表現することが望まれる。

入選

3年生

わたしの通学路安全マップ



応募者のコメント

ふだんから防犯や交通安全についてのきょう味が、何かそれを形にしてみようと思い、今回自分の通学路について調査してみました。実際に通学路を家族と一緒に歩き、写真をとったり危険な場所などを具体的に考えて記入して行く作業をするうちに、通学路の安全な場所も分かり、危険箇所の歩き方や何かあった時の動き方、対処法を家族と話し合うことができました。

講評

調査結果や気づき、感想まで、必要な要素を巧みな配色と構成により整理しているが、何より地図を折りたたみ、持ち運びができるように使い方を工夫した点が斬新で良い。

入選

3年生

私の町の防災マップ



応募者のコメント

近年、全国各地で起きている自然災害に不安を感じて、私が住む町内やその周辺で災害にそなえて、どのような対策がとられているのか気になり調べました。調べていくうちに地域の防災対策について知らない人がまわりに多い事が分かりました。そこで、もっとみんなに防災意識を高めてもらうために、誰が見ても分かりやすく見やすいマップになるように工夫して作成しました。

講評

ハザードマップの情報、独自に調べた公衆電話や消火栓の位置など多岐にわたる情報を盛り込んだ正統派防災マップ。

佳作

4年生

清水窪小学校の周りの防災地図



応募者のコメント

僕は首都直下型地震が30年以内に70%の確率で発生すると聞いたので、地震が起きたときに対応出来るように、避難所や消火器などが何処にあるのかを調べました。調べてみて気付いた事は色々ありましたが、特に黒区の消火器の上に避難所が書いてあって良いと思ったので、大田区も真似して欲しいです。

講評

消火器や消火栓、避難所に関する丹念な調査、マップ作りのきっかけ、分かったこと、感想などの内容の充実は評価できるが、表現にメリハリが欲しい。

佳作

3年生

国泰寺2丁目の安心・安全マップ



応募者のコメント

このマップは、ふだん通学で使っている家の近くの道で、多く事故が起きていることをお父さんから聞いて、どんな危ないことがあるのかわりたいと思いました。お父さんお母さんとゆっくり時間をかけて町中を歩いて、人・車・自転車が

が多いところを調べたり、町にある危ないところはどこにあるのかを家族で考えながら地図に書きました。

講評

調べて気づいたことを6つにまとめ凡例を付けている点は整理の仕方として上手である。地図も丁寧に描いているが、表現に工夫があるとなお良い。